

G1-2024-

農業農村工学

専門(記述式)試験問題

注意事項

1. 解答時間は**1時間**です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
	農業農村工学		

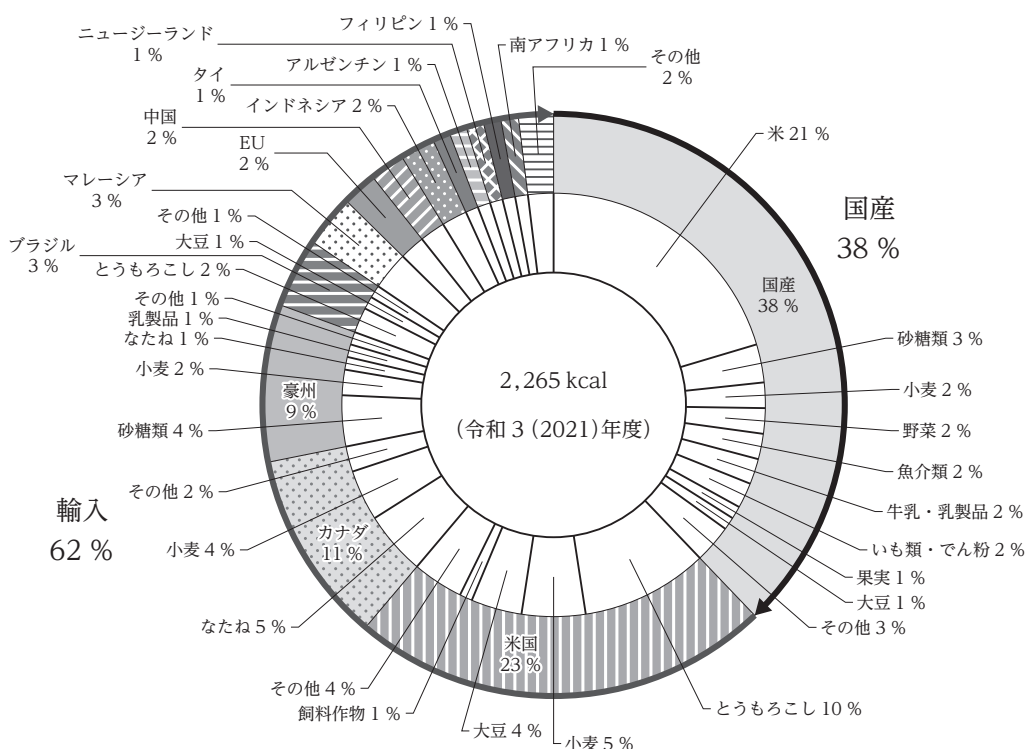
指示があるまで中を開いてはいけません。

世界的な食料需給の増加や国際情勢の不安定化等により、我が国における食料安全保障上のリスクは高まっている。食料の多くを海外に依存している我が国は、食料安全保障の強化に向けた施策を継続的に実施することにより、その強化を実現していくことが必要となっている。

これに関して、(1)及び(2)の問いに答えなさい。

- (1) 我が国における食料安全保障上の課題について論じるとともに、それらの課題に対応するための政策手段について簡潔に述べなさい。ただし、課題を論じる際には図を参考にする。政策手段を述べる際には 内の用語を全て使用し、初めて用いるときには下線を付すこと。

国内の農業生産の増大、輸入の安定確保、備蓄の有効活用



資料：農林水産省作成

注：1) 輸入熱量は供給熱量と国産熱量の差とし、輸出、在庫分を除く。

2) 主要品目の国・地域別の輸入熱量を、農林水産省「令和3年農林水産物輸出入概況」の各品目の国・地域ごとの輸入量で按分して試算

3) 輸入飼料による畜産物の生産分は輸入熱量としており、この輸入熱量については、主な輸入飼料の国・地域ごとの輸入量(可消化養分総量(TDN)換算)で按分

図 我が国の供給熱量の国・地域別構成(試算)

- (2) (1)の政策手段のうち、「国内の農業生産の増大」について、農業農村工学の技術者の視点から対応策を述べなさい。